

New

101/102

クラウド時代に強い資格、LinuC。 物理・仮想Linuxサーバーの 構築と運用なら、レベル1。

めまぐるしくIT化が進展する昨今、
ITエンジニアに求められるスキルも変化しています。
この度LinuCは現場の声を徹底的にヒアリング、
今の時代に対応できる技術者の必須科目として
大幅にバージョンアップいたしました。
新生LinuCレベル1 Version 10.0は、
対象を拡大し、クラウドシステムや各種アプリケーションの
開発に携わるエンジニアにも有効な認定へ。
現場で活躍できる即戦力の証です。

LinuC

リナック

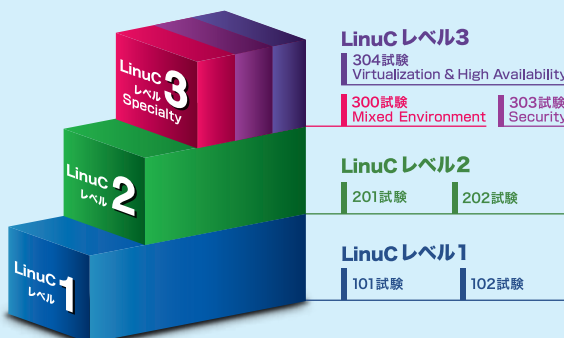
Version
10.0

Level

仮想環境を含むLinuxシステムの基本操作とシステム管理が行えるエンジニアとして認定されます。



1. 仮想マシンとコンテナを含むLinuxサーバーの構築と運用・管理ができる。
2. クラウドのセキュリティを理解し、安全に運用できる。
3. オープンソースの文化を理解し、業務に活用できる。



レベルについて —— 3段階のレベルで体系的な知識と、実用的な技術を習得

- LinuCにはレベル1、レベル2、レベル3の3つのレベルがあり、上位レベルの認定には下位レベルの認定が必須です。
- レベル1、レベル2の認定を取得するためには、レベル毎に2つの試験の合格が必須です。
- レベル3に認定されるためには、300試験、303試験、または304試験のいずれかひとつの試験に合格する必要があります。

エンジニアとしての“即戦力”の証明ならLinuC!

LinuC レベル1 出題範囲

LinuCレベル1に認定されるためには、2試験(101試験と102試験)を5年以内に合格する必要があります。
 ※) Version 10.0の出題範囲は全面的な改定を行い、すべての項目を見直しています。新たな項目にはNewと示しています。



101 試験

主題	内容
Linuxのインストールと仮想マシン・コンテナの利用 New	<ul style="list-style-type: none"> Linuxのインストール、起動、接続、切断と停止 仮想マシン・コンテナの概念と利用 ブートプロセスとsystemd プロセスの生成、監視、終了 デスクトップ環境の利用
ファイル・ディレクトリの操作と管理	<ul style="list-style-type: none"> ファイルの所有者とパーミッション 基本的なファイル管理の実行 ハードリンクとシンボリックリンク ファイルの配置と検索
GNUとUnixのコマンド	<ul style="list-style-type: none"> コマンドラインの操作 フィルタを使ったテキストストリームの処理 ストリーム、パイプ、リダイレクトの使用 正規表現を使用したテキストファイルの検索 エディタを使った基本的なファイル編集の実行
リポジトリとパッケージ管理	<ul style="list-style-type: none"> aptコマンドによるパッケージ管理 Debianパッケージ管理 yumコマンドによるパッケージ管理 RPMパッケージ管理
ハードウェア、ディスク、パーティション、ファイルシステム	<ul style="list-style-type: none"> ハードウェアの基礎知識と設定 ハードディスクのレイアウトとパーティション ファイルシステムの作成と管理、マウント

102 試験

主題	内容
シェルおよびスクリプト	<ul style="list-style-type: none"> シェル環境のカスタマイズ シェルスクリプト
ネットワークの基礎	<ul style="list-style-type: none"> インターネットプロトコルの基礎 基本的なネットワーク構成 基本的なネットワークの問題解決 クライアント側のDNS設定
システム管理	<ul style="list-style-type: none"> アカウント管理 ジョブスケジューリング ローカライゼーションと国際化
重要なシステムサービス	<ul style="list-style-type: none"> システム時刻の管理 システムのログ メール転送エージェント(MTA)の基本
セキュリティ New	<ul style="list-style-type: none"> セキュリティ管理業務の実施 ホストのセキュリティ設定 暗号化によるデータの保護 クラウドセキュリティの基礎
オープンソースの文化 New	<ul style="list-style-type: none"> オープンソースの概念とライセンス オープンソースのコミュニティとエコシステム

出題範囲の詳細と最新情報は <https://linuc.org/linuc1/range/> で必ずご確認ください。

受験申込について

■ 受験の特徴

- 日本を含む世界中のテストセンター(*1)で受験可能です。
- 受験日時はお好みの好きな日時で予約可能(*1)です。
- 受験にはEDUCO-IDが必要です。

■ 初めて受験される方へ

- ① EDUCO-IDの新規取得ページでアカウント登録をし、EDUCO-IDを取得。
<https://linuc.org/exam/>
- ② 下記テストセンターのWebサイトまたはTELで受験申込。

■ 受験予約

受験を希望するテストセンターの検索や試験予約はピアソンVUEで行うことができます。

ピアソンVUEテストセンター

(*1) <https://www.pearsonvue.co.jp/Clients/LinuC.aspx>
 TEL: 0120-355-173 (受付時間: 祝祭日を除く月曜日～金曜日 9:00～18:00)

■ 受験料

15,000円(税別) / 1試験

お支払いは、クレジットカード、コンビニ払い、銀行振り込み

認定を取得すると

- 認定証
- 認定カード(クレジットカードサイズ)
- ログデータ(名刺等に印刷できます)



詳しい内容の説明をご希望の方は、下記までお問い合わせください。

オープンテクノロジープロフェッショナル認定機関
 特定非営利活動法人エルピーアイジャパン(LPI-Japan)

Tel: 03-3568-4482 E-Mail: info@lpi.or.jp

詳しくはLinuCのホームページへ

LinuC

検索

LinuCに関するお役立ち情報はこちらをチェック。



ホームページ
<https://linuc.org>



メールマガジン
<https://lpi.or.jp/mail/>



@lpi_japan



<https://www.facebook.com/lpijapan/>

New

201/202

クラウド時代の即戦力の証明、LinuC。
仮想マシン・コンテナを含むLinuxシステム、
ネットワークの設計・構築なら、レベル2。

LinuC
リナック

Version
10.0

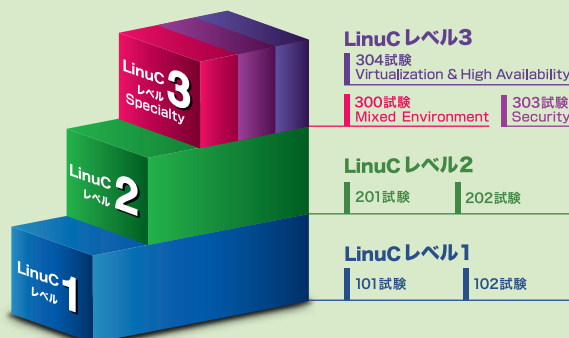
Level

多様な機器がIT化し、クラウドを活用したシステム連携による価値の増大と主要技術のオープンソース化が進展しています。
また一方でシステムの多様化も進んでいます。
新生LinuCレベル2 Version 10.0は、クラウド時代の複数のLinuxシステムが連携した複雑なシステムやネットワークをはじめ、サービスの設計、構築、高度な運用・管理、問題解決ができる上級エンジニアとして認定します。

仮想環境を含むLinuxのシステム設計、ネットワーク構築において、アーキテクチャに基づいた設計、導入、保守、問題解決ができるエンジニアとして認定されます。



1. Linuxシステムの設計、構築、監視、トラブルシューティングができる。
2. 仮想マシンやコンテナの仕組みを理解し、その管理と運用ができる。
3. セキュリティとシステムアーキテクチャの基本を理解し、サービスの設計、構築、運用・管理ができる。



レベルについて —— 3段階のレベルで体系的な知識と、実用的な技術を習得

- LinuCにはレベル1、レベル2、レベル3の3つのレベルがあり、上位レベルの認定には下位レベルの認定が必須です。
- レベル1、レベル2の認定を取得するためには、レベル毎に2つの試験の合格が必須です。
- レベル3に認定されるためには、300試験、303試験、または304試験のいずれかひとつの試験に合格する必要があります。

エンジニアとしての“即戦力”の証明ならLinuC!

